

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		BRIDGE 6 ki		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・部屋が複数あるため利用人数やお子様の状況により部屋を分けて活動をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・友だちを意識したペアや小集団での課題設定を行っている。 ・柔軟なスケジュールの設定。 ・緊急時には他事業所からの応援体制がある。	職員の急な休み等で配置が少ないと感じることがあるため、急な欠員時にも安定した配置ができるよう、体制づくりを進めていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ロッカー、靴箱、椅子、机と同色の印を付け視覚的に分かりやすくしている。 ・必要以外の物は置かず、掲示物も貼らない。	・フロア入り口の死角には必ず職員が目が届くようにする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・一日2回の消毒をおこなっている。 ・壊れたり怪我が予測される玩具等に注意を払い修理処分している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンや個別対応など必要であれば他室を使用している。	・虐待・身体拘束の懸念がないか見極めは必要。 ・管理者の許可をとる。 ・基本人員は守る	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に一回事業所評価を実施、改善点の検討をしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に一回事業所評価を実施、改善点の検討をしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・社内研修を定期的に開催している。 ・自己研修のための研修費用の補助あり	自己研鑽のための研修を受講する時間的余裕がない→自己研鑽としての研修は勤務には該当しないため、今後は業務との両立がしやすい研修参加の方法や環境づくりを検討していく。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・カンファレンスを行い職員間でお子様への支援について検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・常時確認ができるよう、記録ファイルに添付している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・今年度ABLLSのアセスメントを参考にした評価を見直し、より細かな評価とした。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		児童発達支援計画の項目設定や具体的な支援内容について、ガイドラインのねらいをよりの確に反映できるよう見直しを進めていく。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・活動前に打合せを行いプログラムの確認・修正を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・各職員が情報を持ち寄り新しい活動や方法の修正をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・活動前に打合せを行いプログラムの確認・注意点・個別対応の担当等確認をしている	支援開始前の打合せをより確実にし、役割分担や支援内容の共有がより徹底できる体制を整えていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的なモニタリングの実施体制を見直し、計画の必要な見直しをより確実に実施できるよう取り組んでいく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・保護者様からの要望があれば「個別の指導計画」の相談や記入を行っている	就学時の移行に際して、小学校や特別支援学校との情報共有や相互理解がより確実に実施できるよう、連携を強化していく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		・今後機会があれば検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・活動時間の制約がある中で交流は難しい。 ・保育園・幼稚園に通われているお子様が大半なため交流の必要性は今のところない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・家族支援プログラムの実施を会社全体で検討していく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約の際に管理者から説明をしている	・契約書に関して全職員が読み確認しておくようにする	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		働いていらっしゃる保護様が多数のため平日の開催は現状では難しい。 ：参加しやすい日程や方法を検討し、保護者同士・きょうだい同士の交流の機会の設定を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3		・HUGを利用して情報を発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・今年度は行っていない。	・ご要望があれば積極的に受け入れていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・BCPを策定し必要な訓練を行っている	・職員の意識を高めるためにBCPの読み合わせを定期的に行う
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・看護師がファイルを作成し管理を行っている。 ・随時職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・医師の指示書がある対象児がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・その日の申し送り時及び次週の打合せ時に職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・伝達研修の形式で実施	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・現在対象児がいない ・管理者が身体拘束適正委員会を担っている。説明書などの社内統一書式確認済	